

金子悦子のお約束



- 国民健康保険料の値下げ
- 75歳以上の医療費ゼロ
- 保育園・学童保育増設で、待機児童をなくす
- 特養・グループホームの増設など、高齢者福祉の充実
- 少人数学級を小・中学校の全学年に
- 準工業地域を守ります。中小工場の家賃助成の公的支援
- 住宅リフォーム助成制度を商店・工場に拡大

「いのちを守る」金子悦子の原点です

父の長期闘病や叔母・いとこの事故死から、看護師の道をめざす

金子悦子さんは、1948年鹿児島県曾於郡末吉町（現在の曾於市）で2人姉妹の長女として誕生。父は予科練で終戦時18歳。その後、肺結核で長い療養生活を送りました。高校生の時、叔母といとこが、交通事故で死亡するという悲しいことがおきました。そうした中、必死に叔母たちの手当てをする看護師の姿に感動し、鹿児島大学医学部付属看護学校に入学しました。

看護師として医療の現場で24年

差額ベッドは、お金のあるなしで患者を区別します。このような差別のない医療をしたいと思い、友人の紹介で1970年に大田区の大田病院に入職し、2人の子どもを共働きで育てました。

大田病院では外科・内科病棟に勤務しながら、労災・職業病、大気汚染による喘息など大きな社会問題の運動にも取り組みました。京浜診療所に転勤し、訪問看護や往診で在宅医療にたずさわった経験が、介護保険導入時の制度充実に生かされました。

「差別のない医療を実現するには、政治を変えねば」と、大田病院入職と同時に日本共産党に入党。同年10月、革新都政のもとで、老人医療費無料化が実現しました。



大田病院で看護師駆け出しのころ

政策決定の場に女性を、と議員に

区議にと要請され迷わず決意しました。1995年初当選以来5期20年を住民のみなさんとともに頑張ってきました。50名の大田区議会に看護師出身は、いま金子悦子さん1人です。



中学生の時、妹と



看護学校時代
左前が金子悦子さん

プロフィール 1948年(昭和23年)鹿児島県生まれ。鹿児島大学医学部付属看護学校卒。「だれもが安心して医療を受けられ、平和に生きられる社会」をめざし日本共産党に入党。大田病院・京浜診療所で看護師24年。1995年大田区議会議員当選。現在5期目。区議会健康福祉委員長・広域斎場対策特別委員長など歴任。趣味は読書、映画鑑賞など

日本共産党

- 安心して子育てを人間らしい老後を
- 雇用と中小企業に希望の区政を

かねこ 悦子

区議会議員 5期20年



看護師24年の経験生かし
区民のいのち第一でまっしぐら

躍進した日本共産党
国民と力合わせて

ストップ!
安倍暴走政治

- 消費税増税 NO!
- 国民の暮らしをあたため日本経済の再生を
- 「戦争する国づくり」は許しません
- 原発ゼロへ、再稼働ストップ
- 沖縄の米軍新基地建設は中止を

私は、5期20年、六郷のみなさんに支えられながら、認可保育園や特養ホームの増設などに取り組み、実現してきました。いま、区民の暮らし・営業が本当に大変になっています。安倍政権の「戦争する国づくり」の下で、平和と自由が脅かされています。この政治を変えたいという区民の思いが、昨年末の総選挙での8議席から21議席への日本共産党の躍進に託されたのだと、日々実感しています。この期待に応え、いのちと暮らし、営業、平和を守るため、さらに力をつくします。六郷地域はいま、工場跡地でのマンション・戸建て住宅の建設ブッシュです。日本のモノづくりを支えてきた高度な技術のまち工場、まちを支えてきた商店街、安心して住み続けられる地域を守るために、引き続き全力でがんばります。みなさんのご支援を心からお願いたします。

金子悦子事務所 電話 03-5711-0350 Fax 03-5711-0376 ホームページ 金子悦子 で検索



2015年 3・4月号外
大田民報社 北馬込1-4-12 佐藤方

日本共産党大田地区委員会の見解を紹介します。

5期
20年

みなさんと
力をあわせて

区政を動かし実現

日本共産党
区議会議員

金子悦子



4年間で 特養ホーム 5か所

「だれもが人間らしく生きられる社会を」。看護師として24年、医療・介護の現場で働いた金子悦子さんのライフワークです。

いま、区内で1,500人もの特養者がいる特別養護老人ホーム。金子さんは、国や都の未利用地の活用、用地の確保しやすい小規模施設などを粘り強く提案し、この4年間で区内に5か所の特養ホーム増設に実りました。

父母のみなさんと力をあわせ 中学3年まで 医療費無料 4年間で 認可保育園21園

子どもの医療費助成制度。金子悦子さんは3回の条例提案など、繰り返し提案。ついに中学3年生まで無料になりました。

働きながら2人の子どもを育てた金子さん。「待機児解消は認可保育園の増設で」というママパパの熱い願いを受け止めて、区や他党の「認可保育園はもう不要」という姿勢を変えさせて、認可保育園21カ所・約1,300人分の増設が実現しました。

町工場は「日本の宝」・商店街は「町の顔」 全事業所調査、プレミアム付商品券、 住宅リフォーム助成

金子悦子さんの活動する仲六郷・西六郷。いま、消費税の増税で、「くらしも営業も大変」「このままでは廃業だ」と、中小業者の悲鳴が渦巻いています。

一方、六郷工科高校の卒業生が、六郷地域の工場に就職するなど明るい話題もあります。商工業の支援を強めるために欠かせない全事業所の実態調査を、区民とともに区に実施させました。



大田の町工場 は日本の宝。区の支援策強化を提案し、2009・2011年度に「ものづくり経営革新緊急支援事業」が実施されました。機械・金属加工業者のグループによる小型風力発電機の開発に、区の「新製品開発支援事業」の補助金が活用されています。

商店街 は、消防団・子どもSOS・町会など、地域を支える大事な「町の顔」です。地元での買い物促進にと「プレミアム付商品券」を提案、2009年以来6回発行されました。建築業者の仕事増につながる「住宅リフォーム助成」も実現、予算も当初の2倍になりました。



住民の声を聞き、六郷のまちを駆けめぐり

原発事故の放射線から子どもを守る

東日本大震災・原発事故では、金子悦子さんは区よりも早く、住民とともに地域の放射線量を独自に測定。区にホットスポットの除染もさせました。保育園や学校の給食食材の区による安全確認も実現しました。



毎月11日は「原発ゼロ」宣伝・署名行動



毎月11日には欠かさず、住民とともに雑色駅頭で「原発ゼロへ」の宣伝・署名行動を続けています。

防災対策の充実も前進

海拔表示の設置、一次避難所の備蓄品の充実、津波避難ビル協定、住宅の耐震改修への補助率の引き上げ、家具転倒防止器具の支給の条件緩和、耐震シェルター・ベットへの助成が実現しました。

住民とともに風害対策に取り組む

六郷地域は工場跡地に高層マンションが増え、多摩川の川風で思わぬ突風被害が出ています。計画段階から完成後まで、風害軽減のための住民運動に取り組み、防風ネットなどの対策が進んでいます。

マンション建設は、住民の声を尊重して

現在、西六郷・仲六郷で4件の建築紛争の相談を受けています。グリコ工場跡地について、住民の方々の意向アンケートを行い、大田区や東京都に病院や保育園・特養建設の要望を伝えました。「グリコ跡地大規模マンション建設計画と環境を守る会」のみなさんとともに、交通量調査や道路視察を行い、住民のみなさんの声を東京都や大田区、マンション業者に届け、交渉しています。



巨大マンションが計画されている西六郷のグリコ工場跡地

暮らしの相談 念願の障害年金が受け取れました

仲六郷のIさんは、1945年8月7日、愛知県の豊川工場の空襲で負傷し障害者に。2回の障害年金申請が却下され、金子悦子さんに相談。金子さんは、かち都議や党国会議員事務所、東京南部法律事務所と連携し、3回目の申請を援助。3年がかりで障害年金が受け取れました。

繰り返しの提案や区民との共同で実現

- 社保蒲田総合病院が東京蒲田医療センターとなり存続
センター長が産科の分娩再開の意向を表明
- 民間産院の建設補助・荏原病院の分娩再開
- 小中学校の普通教室にクーラー設置
小中学校校舎の耐震化
- 小学1・2年生と中学1年生の35人以下学級実現
- 雑色踏切、大倉踏切の歩道の拡幅。
- 京急高架下の活用（仲六郷小学校の校庭拡張、防災倉庫設置）



改善された雑色踏切